

## 『俳諧史の曙』文部科学大臣賞

### ●●● 芭蕉祭記念講演会 ●●●

10月12日の芭蕉祭前日の11日、中央公民館ホールで記念講演会が開催されました。

講師には芭蕉顕彰事業の一環として俳文学関係著書の中から文部科学大臣賞を受賞した「俳諧史の曙」の著者の母利司朗さんが、<sup>本人が</sup>連歌と俳諧の違いを中心に話されました。

日常語（俗語）を使うことができる俳諧の自由さに人気があり、連歌から俳諧へと変っていった芭蕉が伊賀にいた頃の俳諧はどのようなものであったかなど、伊賀市で生まれた芭蕉のことを少しでも知りたく、会場いっぱい参加者は講演を聴きながらそれぞれに、芭蕉の時代を思い起していました。



## 交流深め、災害時も連携を

### ●●● 災害時相互応援協定締結式 ●●●

10月1日、伊賀市役所で木津川市との応援協定の締結式が行われました。いずれかの市が、地震や風水害などの自然災害を受けた場合に、迅速な応援体制をとり、相互に応援することを目的としています。

今岡市長は、「住むところが違って、人命を守るために協力することが必要です。木津川を利用した交通運搬でつながりが深かった歴史もあり、災害時だけでなくさまざまな面で関係を持ちたい」と話しました。

また、木津川市の河井市長は「木津川市も合併で山間部が増えたので力強く思う。また、これを縁に色々な面で協力していきたい」と話しました。

そのあと両市長は、応援協定書にサインをし、固く握手しました。



## 笑顔いっぱい！スポーツでふれあい

### ●●● 伊賀市障がい者スポーツ大会 ●●●

10月4日、県立ゆめドームうえので「伊賀市障がい者スポーツ大会」を開催しました。この大会は障がいのある人が運動競技を通じて体力の維持と健康増進を図り、自立と社会参加の推進を目的に開催しています。参加者が年々増加する中、3回目の開催となる今回は400人以上の参加がありました。

競技は車椅子魚釣りや輪投げ、パン食い競走など8種目あって、1人で3種目参加する人もいました。



参加した人たちの中には「同じ施設仲間のいつもと違う表情が見ることができてうれしいです。参加をすることに意義があると思うから1人でも多くの人に参加してほしい」「ドームは雨の心配も無く、たくさんの人と楽しめるけど、風を感じることができれば、もっといいなぁ」などと大会に関する思いを話してくれる人がいました。

会場は、障がいのある人、ない人がひとつになって、一つの競技に取り組み、たくさんの笑顔でいっぱいになりました。参加した人たちはスポーツの秋を存分に楽しんだ様子でした。



# 晴れ渡った秋空の下で、にぎわいのお祭り

## ●●● ふれあいフェスタin青山 ●●●

10月13日、青山ハーモニー・フォレストで「ふれあいフェスタ in 青山」を開催し、会場には地元特産品の販売や木材などを使った体験をするブースが並び、44団体が出店しました。

伊賀森林組合は、青山地域の間伐材を使った丸太切り体験を行い、参加した子どもたちは細い杉の木をのこぎりで一生懸命切りました。体験をした子どもたちは、「おもしろかった」「全部切れて良かった」と喜んでいました。



国際交流協会青山地区委員会は、にんにくと塩・こしょうで味付けたリング

イッサというソーセージ焼きと、赤身で脂身が少ないヘルシー料理として天日原塩で焼いた牛もも肉の串を販売しました。今年は日本人がブラジルへ移住を開始して100年の年にあたるのでブラジル民芸品や食料品の販売、写真展もありました。

また、森林や山村での営みの様子を写したフォトコンテストの表彰式などもあり、この日、参加者およそ3000人が秋晴れの下、青山の秋を楽しみました。



## やせるテクニックを学ぶ

### ●●● 健康づくり講演会 ●●●

10月18日市内ホテルで、日本肥満予防健康協会理事長の宮崎健爾さんが「健康的に美しくやせるテクニック公開」について講演しました。

宮崎さんは、40歳を超えると背筋など大きな筋肉が減少することなどで、基礎代謝が減少するのに食べる量は減らないから太りやすいと説明し、食事だけのダイエットは「食事をカットした分、脳は基礎代謝を減らそうとするため筋肉が落ちる、そしてリバウンドすると、筋肉が増えず脂肪だけ増える、3回もリバウンドを繰り返すと、命に危険がおよぶ一歩手前です」と、その危険性を話しました。そして、美しくやせる食事について、日本食や地中海食の特徴である高炭水化物・高繊維・植物性脂質などが効果的であると話しました。ユーモアを交えた講演に参加者も熱心に聴きっていました。



## 自然とふれあい、歴史を学ぶ

### ●●● 伊賀の国探訪ツアー ●●●

10月18日、伊賀市・名張市広域行政事務組合の主催で「伊賀の国探訪ツアー」を開催しました。

この探訪ツアーは伊賀地域の自然や史跡を訪ねることで地域の魅力を再発見していただき、交流や健康づくりなどを目的に開催しているもので、会場は伊賀市と名張市を交互に設定しています。



今回は城下町ウォーキングツアーと題し、伊賀市の中心市街地の商店や松尾芭蕉ゆかりの蓑虫庵、旧小田小学校、鍵屋ノ辻の伊賀越資料館などを見学しました。参加者75人は4つのグループに分かれ、「伊賀上野語り部の会」の皆さんの案内で、興味深い説明を受けながら散策を楽しみました。

鍵屋ノ辻への抜け道である『小六坂の竹林』では、よく晴れた空から光がそそぎ、参加者はさわやかな秋の1日を過ごしました。

